

PASSAGE A L'ACTE



Daniel Auteuil Patrick Timsit Anne Parillaud

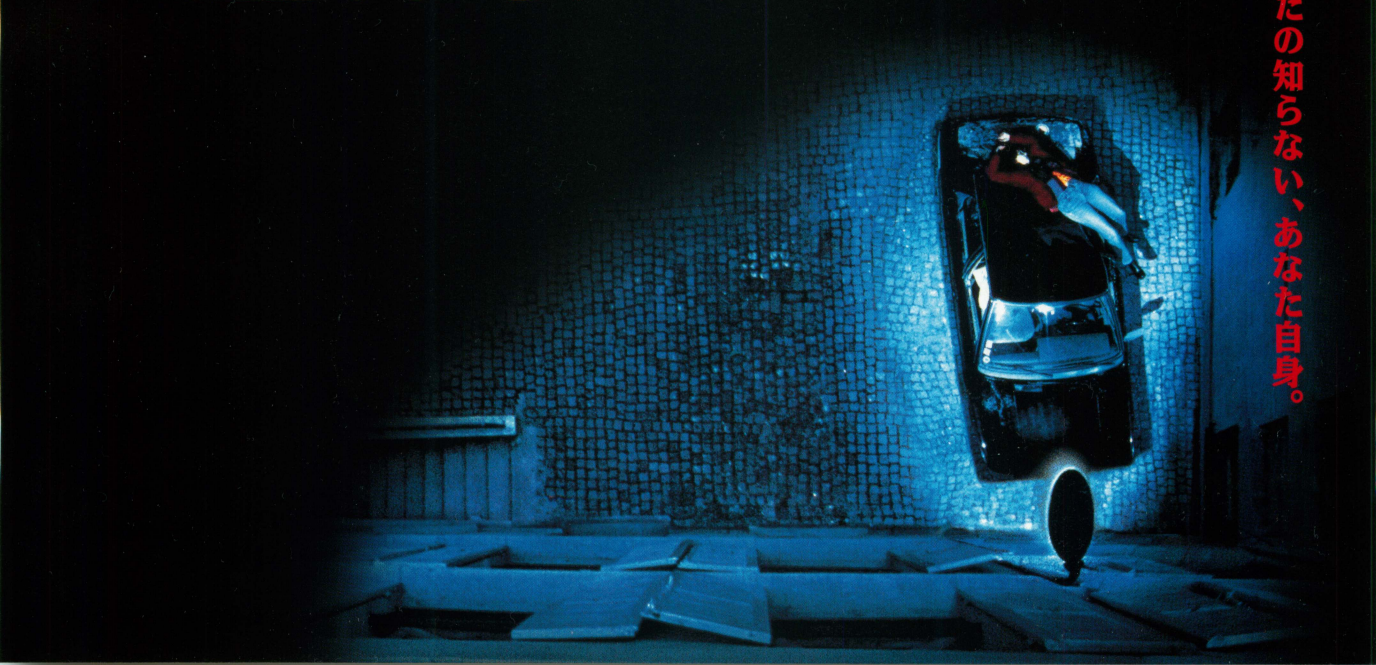
見憶えのある他人

フランシス・ジロー監督作品



ダニエル・オートウイユ パトリック・ティムシット アンヌ・パリロー
ミシエル・ラロック マリアンヌ・ドニクール

製作:ブリュノ・ベゼリ、ミシェル・セイドゥ
共同脚本:フランシス・ジロー、ミシェル・グリソリア、ジェラルム・ミレール
撮影:シャルリー・ヴァン・ダム 美術:ベルナール・ヴェザ 音楽:アレクサンドル・テズブラ
1996年 / フランス映画 / 1時間45分 / カラー / 1×1.85ウイスタ / ドルビー・ステレオ
© ARENA FILM / 配給:グレストインターナショナル / 協力:ポリグラム



あなたの最も見近な他人…。それは、あなたの知らない、あなた自身。

PASSAGE A L'ACTE

見憶えのある他人



心を覗くのか?
心を覗かれるのか?

幾重にも織り込まれた、運命と、計画。

無意識の欲望はある日突然その貌をのぞかせる。

“フレンチ・ミステリー映画”と言えば、アンリ=ジョルジュ・クルーゾー監督「悪魔のような女」(原作:ポワロー・ナルスジャック)や、ルネ・クレマン監督「太陽がいっぱい」(原作:パトリシア・ハイスミス)など、優れた原作から映画化されているものが多い。そして、その系譜として徐々にフレンチ・ミステリーの傑作が登場した。それがこの「見憶えのある他人」だ。フランスの新進気鋭のミステリー作家ジャン=ピエール・ガッターニョの原作「悪魔の囁き」の完全なる映像化。その戦慄の世界は「あなたは、自分の事をどれだけ知っているのか」という問いを投げかけてくる。

ミステリー界のフランソワ・トリュフォー

監督フランシス・ジローは、ミステリーという分野を得意とし、嘲笑的で退廃的な作風で知られる。日本でも「地獄の貴婦人」が公開されるや否や、その怪奇な世界に熱狂的なファンが生まれた。日本公開作品は'86年より長く途切れたままとになっていたが、彼の映画の公開を首を長くして待っていた長年のファンの願いが、ここによくやく叶った。

トリュフォーに深く傾倒していることでも知られるジローは、今回はアントワヌやダヴェンヌといったキャストの名前で遊んでいるのがユーモラス。静けさの中の狂気に、トリュフォーの粋なパリっぽさを加え、怪奇な世界と上品さが混在し、何とも言えない味わいを出した。

パリ16区、高級住宅街にある著名なセラピストのクリニック。

真紅の寝椅子に横たわりカウンセリングを受ける患者の中に、ひとり潜む奇怪な男。「妻は死にました。実を言うとね、私が殺したんです。」その衝撃的な告白に、セラピストはとまどい、翻弄され、苛立ちながらも次第に患者の思惑に深く陥っていく。男の狙いは一体何なのか。

一方、セラピストに身も心も預けようとする美しい女患者は言葉で彼を誘惑する。しかし、彼女にも怪しい影が忍び寄っていた。見えない欲望に手練り寄せられた運命の糸。やがて危険な心理ゲームは意外な事実を暴き出していく。

今やフランス映画界を代表する、性格俳優ダニエル・オートゥイユ(今年には日本でも「八日目」[夜の子供たち]が公開)が著名セラピストに扮する。対する不気味な患者には「ペダル・ドゥース」で怪演を見せているパトリック・ティムシット。この2人の性格俳優同士の熱い競演に、「ニキータ」のアンヌ・パリオールが成熟した美しいアンニュイな魅力を存分に見せ、華を添える。「パリでかくれんぼ」のマリアヌ・ドニクールや、知的女性を演じたら右に出るものナシのミシェール・ラロック(「ペダル・ドゥース」でも熱演)らが脇を固め、ここにフランスの旬な俳優たちが結集した。

「無伴奏〜シャコンヌ」で初監督を務めたシャルリー・ヴァン・ダムが撮影を担当し、ペテランの力量を見せつける。音楽のアレクサンドル・デズブラは、作曲家としても人気が高く最近ではシャルロット・ゲーンズブルに曲を提供し、大ヒットを記録。衣装のジャッキー・ビュダン(「紅い航路」での衣装を担当するなど、優雅さと上品さには定評がある。オートゥイユが身につけている衣装は全てランパンであるなど、パリの中でも最も優雅で洗練された雰囲気をもつことができる楽しみもある。

あなたは、自分のことをどれだけ知っていますか？



だれもが、無意識の犠牲者になるかもしれない——この映画は、私たちにそう警告しようとしている。
香山リカ(精神分析医)



STUDIO
不思議な魅力に満ちている!

LE MONDE
謎に満ちた魅力的な作品!
非現実と現実の絶妙なさじ加減。



今秋ロードショー

特別鑑賞券1500円好評発売中 当日料金1800円(税込)

定員制・入替制

お立ち見及び上映開始後の入場はできません。前日までに混雑状況をご確認の上、お出かけ下さい。

Bunkamura 03 (3477) 9264
ル・シネマ

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

HITACHI NEC NTT TOKYU

